

天皇代替わり、どうする・・・

夏祭り起太郎

1. 明仁は名君？

昨年、中日新聞が天皇代替りに関連したリレーコラムを始めた。たしかその一人目で登場したのが樋口陽一。憲法学者で学界では、一応、国民民主権論などに通じたりベラル派の重鎮と目されている人らしい。論旨は、「平成時代は、憲法を擁護する名君である明仁帝により良い時代だったが、次の時代はどうか、名君に頼ってばかりはいられない」というようなものと私は読んだ。公的行為拡大に熱心だった明仁を、憲法を擁護する名君（死語！）というとは、この方の「憲法擁護度」を疑わざるを得ない。所詮、批判的に読むようなものではなく、天皇と天皇制を無責任に賛美するコラムを「いいね」と読み流すコーナーか？

2. 「代替り後初めてのビッグイベント」

って・・・

天皇代替り茶番劇のスケジュールも、大分具体化して閣議決定など経て、公表されてきた。2019年4月30日退位、5月1日新天皇即位（たしか、亡くなった日が即日新天皇即位が先例だったはずだがいつのまに別日に？すべてご都合主義・・・）。

4月28日：主権回復の日（＝オキナワ屈辱の日）、

4月29日：昭和の日（＝無責任の日）

4月30日：平成最後の日

5月1日：新時代スタートの日（メーデー）と4日連続の国体護持強化メモリアルデーとする目論見で、オキナワ屈辱の日やメーデーに何の意味も見出さない連中の企画らしい（宮内庁方面からメーデーを代替りの日にするのはいかがなものかという「常識的な」異論が出されたとも聞く。）

そして、新天皇が即位後世界に向けてデビューする一大イベントは、2020東京オリンピック・パラリンピック（規定により開催都市の属する国の「元首」が開会宣言をする！）。その前に、国内向け、新天皇即位後初めて行われるビッグイベントが2019年初夏頃行われる愛知植樹祭だ。天皇が、一本の木を植えるために数十億単位の公費を使って、たくさんの木を伐採し、「国土の緑を大切に」ともいうまったくもって不思議で

呪術的なイベント（毎年都道府県主催で行われる。もちろん主眼は、天皇が全国を巡り歩いて木を植え、「お言葉」なるものを発する天皇賛美の行事だ。）愛知県では、1979年5月27日にヒロヒト夫婦が藤岡町（当時）で木を一本ずつ植えており、40年ぶりの今回（「第70回全国植樹祭」というのが正式名称らしい。）はおそらく5月か6月に、県森林公園（尾張旭市、守山区）に設営される会場で実施。1万人の参加を見込んでいるという中日新聞2017年12月5日朝刊県内版記事より）。マリー・クリスチーナがイメージキャラに起用されたり、「夢を諦めないで」の岡村孝子がイメージソングの制作を愛知県から委嘱されたりしたというニュースが新聞に載っていた。植樹祭は、環境破壊、公金の無駄遣い、過剰警備や人権侵害など様々な問題をはらんでいる。これにどう対応するのかこれからの課題である。

3. 天皇行事と皇太子行事と

その他の皇族参加行事の行方は？

明仁は天皇の公的行事参加を増やしてきたが、皇太子参加行事もたくさんある（代替りに伴って皇太子行事が天皇行事に格上げになるものもある）。その他の皇族参加行事もまたたくさんあるのだが、明仁がやっていた分をほぼ徳仁が受け継ぎ、徳仁がやっていた分で天皇行事に格上げしないものには、秋篠宮が代わって出るとしたら秋篠宮の出席していた多数の行事には誰が出るのか？これがまだ全部は決まっていならしい。ヒロヒト時代には、高松宮などが列席していた来歴を持つものも多くあり、秋篠宮の娘たち辺りに引き継ぐのは難しいであろう。御曹司の悠仁ちゃんはずがにまだ小さいので無理。いっそ、愛子ちゃん（悠仁が生まれる前、立川の昭和記念公園には「愛子様の森」というのが作られたくらいだから・・・今も森があるかどうか知らないが）に引き継ぐのか？

これから、女性週刊誌などマスコミこぞって明仁名君論とか、美智子の秘められたなんとかとか、新天皇3000年の歴史を有するDNAはちょっと違ふとか、雅子の静かな決意とか、跡継ぎ大丈夫とか、訳の分からないチョーチン記事が垂れ流されるであろう。巻き込まれたくない。知らない！関係ないし！と端的に拒否したい。

5. 天皇制の本領は・・・

さて、どうするか？

去る2017年11月某日、都内で「天皇制要らない」をアピールするための集会とデモが行われ、デモには約200人が参加した。機動隊と公安は一体何百人、何千人投入されたか知らない。右翼やくざの暴力による妨害もいつもより少ない。機動隊の妨害もこの種の街頭行動に対するものとしてはユル目だった（もちろん公安の肖像権侵害撮影はいつもながらひどかったし、数日前に、この日使われる予定のデモ先導車が別の行動の機会に右翼の暴力でひどく破壊されたりもした）。右翼や公安の乱暴で、けが人が出たり逮捕者が出たりすると、報道のネタとなって、そういった街頭大衆行動が確かに行われたという情報が人目に付く形で流されやすくなることを考慮し、このような出来事があったことを誰にも知らせないことを最優先にしたのだろうかとは私は推測している。

今は亡き米長邦雄が、園遊会で、明仁に、「君が代が歌われるように頑張っています。」などと述べたところ、明仁が「強制じゃないほうがいい。」と言ったというのが大分前に話題になったが（護憲明仁が保守反動米長にくぎを刺したという見方をする人が多かったが、私は、強制と感ぜさせないように私（明仁）を見習ってもっと上手くやってくれたまえという悪質な指導・激励を見た。実際、米長自身、「懇切な助言と激励をいただいで感激した。一層頑張る」というようなコメントを出したと記憶する）。「強制させられている」とか「反対だ、嫌いだ」という人がけっこうたくさんいるということがあらわになることに天皇制は弱い。

天皇制の本領は、法律や憲法に定められているところではなく、天皇制の前ではみな膝をかかめるといふ事実状態にある。「反対の方もいらっしゃるようですね、ま、人それぞれですから」ということで済ませてくれないところが悪質であり、強みでもあり、弱点でもある。天皇制要りません、迷惑です、いい加減にしてくださいという意思表示の一つ一つが天皇制を掘り崩し、葬り去ることにつながると思う。そういう意味では、明仁の発意による、こぞって「御意」に従う忖度という流れで退位特例法制定を許してしまったことは、大きな悪しき先例で、向こうが一枚上手だったと認めざるを得ない。こちら側の力不足であった。